

令和 7 年度（2025 年度）飯山市美術館運営協議会（第 1 回）

日時 令和 7 年（2025 年） 5 月 22 日（木） 15:30～

場所 飯山市公民館 101 会議室

1 開 会

2 辞令交付

3 あいさつ

・山田晃教育長

4 自己紹介

5 会長選出

会長 _____ 会長職務代理 _____

6 会長、会長職務代理あいさつ

7 協議事項

（1）令和 6 年度（2024 年度）事業報告について（確認）

（2）令和 7 年度（2025 年度）事業計画について（確認）

（3）令和 8 年度（2026 年度）以降の企画展等の予定について

（4）飯山市学びのエリア再整備ビジョン策定について

8 そ の 他

9 閉 会

改正

平成18年2月20日教委規則第1号

平成20年3月24日教委規則第2号

平成27年3月31日教委規則第4号

飯山市美術館運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、飯山市伝統産業会館条例（昭和57年飯山市条例第22号）第19条に定める飯山市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）の委員の定数、任期その他必要な事項を定めるものとする。

(定数)

第2条 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

(任命)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者並びに学識者から教育委員会が委嘱し、又は任命する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員が互選する。

2 会長が会務を総理する。

3 会長が事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(協議会)

第6条 協議会は、美術館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対し意見を述べることができる。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成18年2月20日教委規則第1号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月24日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第1条の改正規定は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教委規則第4号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

令和 7 年度（2025 年度）飯山市美術館運営協議会委員 名簿

飯山市美術館運営協議会委員 名簿（敬称略）

	氏 名 等	備考（推薦団体等）
1	浅野井さお里（飯山市立城北小学校教頭）	飯山市校長会
2	明石 洋一（飯山仏壇事業協同組合理事長）	飯山仏壇事業協同組合
3	阿部 拓也（内山紙協同組合）	内山紙協同組合
4	吉田 正紀（飯山市芸術文化協会会長）	飯山市芸術文化協会
5	沼田 文恵（飯山市芸術文化協会会員）	飯山市芸術文化協会
6	佐藤 環（作家）	学識経験者
7	星野 秀樹（写真家）	学識経験者
8	置塩 ゆかり（飯山市地域おこし協力隊）	学識経験者
9	社会教育委員会から推薦を受け、6 月 1 日付で任命予定。	

※女性委員比率 50%

任期：令和 9 年（2027 年）4 月 30 日まで

教育委員会関係者

1	山田 晃	教育長
2	島崎 紀明	文化振興部長
3	井端 伸介	文化交流課長（兼）美術館長（兼）美術館係長
4	木村 友子	会計年度任用職員
5	木村 直子	会計年度任用職員

	事業名	内容・効果等	期間・会場等	入館者数等
常設展示	所蔵品展(前期)	飯山市出身あるいはゆかりの芸術家で、これまで企画展を開催した画家の作品を中心に展示。 美術館収蔵品60～70点を展示した。 作家名等:長谷川青澄(日本画)・宮澤鉄夫(日本画)・相原求一朗(油絵)・駒村久彌(油絵)・岩上隆静(水彩)・齋藤一郎(和紙作品)・小林起一(コンセプトアート) 後期は、上野正夫、相原求一朗、松澤芳宏らの寄付受入作品を加えた展示とした。	(R5.12.2～) R6.4.1～R6.4.11	入場者数:478人
	所蔵品展(後期)		R6.12.7～R7.3.31 (～R7.4.17)	入場者数:499人
企画展	松蔭寺と細川家の秘宝 ブッダと白隠禅師展	松蔭寺(静岡県)永青文庫(東京都)が所蔵している白隠禅師の第一級の作品を高精細スキャニング技術により再現した複製書画46点を展示。 難解とされる白隠の作品を専門家の詳しい解説とともに鑑賞できる機会を提供した。	R6.4.20～R6.6.9 開館日数:51日 会場:展示室	入場者数:469人 ※うち有料315人
	猪瀬清四朗彫刻展 ー人体彫刻を追究した60年ー	飯山駅前公園に設置されている丸山邦雄像を制作した市出身彫刻家、猪瀬清四朗(1937-2023)の回顧展を開催。 国展に出品した等身大人物像50点を中心に首像などの小品を合わせて70点余りを展示し、生涯をかけて取り組んだ人体彫刻の世界を紹介した。 美術館で市バスを手配等し、城北中57名来館。	R6.6.15～R6.9.23 開館日数:101日 会場:展示室、ロビー	入場者数:1,110人 ※うち有料608人
	長野県立美術館移動展 ～丘にそって、河にそって～	長野県立美術館所蔵作品を県内各地で紹介する「移動展」が飯山で開催された。草間彌生をはじめとした信州を代表する作家の作品や近年新たに収蔵された小山利枝子、小松美羽、柳原澄人など、油彩、水彩、版画、アニメーション他という幅広いジャンルから現代美術作品含め30点が展示された。 美術館で市バスを手配等し、城南中189名来館。	R6.9.28～R6.10.13 開館日数:16日 会場:展示室	入場者数:1,448人 ※県立美術館の方針により入館無料
	～伝統美と創造の世界～ 長谷川青澄没後20年展	市美術館が所蔵している院展出品作品から特に重要と思われる30点と普段は見る事が出来ない個人や施設が所蔵している作品約50点を展示し、飯山市名誉市民の日本画家、長谷川青澄の70年に及ぶ画業をあらためて振り返った。 関係者の高齢化が進む中、市内個人の作品所蔵状況を確認する機会となった。 美術館で市バスを手配等し、城南中と飯山高校合わせて135名来館。	R6.10.19～R6.12.1 開館日数:44日 会場:展示室、ロビー、2階ギャラリー	入場者数:710人 ※うち有料259人
美術教室等	はって、はって、ちぎり絵アート	和紙と押し花を使ったアート作品作りを実施。誰にでも出来る簡単な工作でありながら、子どもそれぞれの個性が現れた作品が出来上がった。	R6.8.2 会場:公民館101	参加者数 小学生 15人
	空飛ぶクラゲをつくらう!	色画用紙やスズランテープなどを使って飛ばして遊べるクラゲを作り、制作後は皆で飛ばして遊んだ。	R7.3.29 会場:公民館講堂	参加者数 小学生 6人
その他	作品の寄付受入	1 上野正夫作品2点(横須賀市在住のご遺族から) ①Twisted column ②Untitled 2 松澤芳宏作品3点(市内在住の作者から) ①雪晴れる街 ②春への日ざし ③晴れた日に 3 相原求一朗作品1点(川越市在住の個人から) ①田園待春	1 R6.10.16 寄付採納承認 2 R6.10.16 寄付採納承認 3 R6.11.22 寄付採納承認	
	公民館内市民ギャラリー	市内で活動しているグループや個人の作品発表を支援した。図書館入口ガラスケース:6グループ、2個人 公民館廊下:4グループ、飯山高校美術部	随時	

令和 7 年度（2025 年度）事業計画

1 収蔵品展

内容： 飯山市出身あるいはゆかりの美術家及び企画展を開催した美術家の作品を中心に収蔵品展を行う。美術館収蔵品及び借用作品を合わせて 60～70 点を展示する。

期間： ①令和 7 年（2025 年）4 月 1 日（火）～4 月 17 日（木）

※展示内容は令和 6 年（2024 年）12 月 7 日から継続

※4/19 日（土）・4/20（日）の二日間は飯山市民芸術祭会場として使用

②令和 7 年（2025 年）4 月 23 日（水）～5 月 28 日（水）

③令和 7 年（2025 年）11 月 29 日（土）～令和 8 年（2026 年）3 月 31 日（火）

※展示内容は令和 8 年（2026 年）4 月中頃まで継続

2 企画展開催事業

（1）企画展『冬耳 この惑星（ほし）のうつわ』

期間： 令和 7 年（2025 年）6 月 7 日（土）～8 月 31 日（日）

内容： 市内瑞穂地区在住の美術家、冬耳（ふゆじ）氏（R 5 春に大阪から移住、本名：中川 健）の個展を開催する。色と形による色面構成を主体とした冬耳氏の作品は、風景や動植物などの具象的な形態が取り込まれながらも、画面全体は非日常的で抽象性の高い精神世界が表現されている。近年は、「人と自然の共生」をテーマとした制作に取り組む中で支持体の矩形は四角形から不定形へと変化し、色彩は更に明度や彩度が上がるなどダイナミックな展開を見せている。

飯山市を拠点に活躍している現代美術家の作品を老若男女問わず鑑賞できる機会としたい。

関連事業： 冬耳氏と松村咲希氏（野沢温泉村出身の美術家）によるアーティストトークを 7 月 5 日に開催する。

（2）企画展『思い出の学校展』※ふるさと館と共同開催

期間： 令和 7 年（2025 年）9 月 6 日（土）～11 月 24 日（月・祝）

内容： 今年、飯山市立城北小学校が開校したことを記念し、統合した 4 小学校にまつわる品々や学校の歴史のほか、市民の小学校時代の思い出などを紹介することで、誰もが小学校時代を懐かしみながら世代を超えて交流できる場をつくる。

具体的には、統合する 4 小学校で展示されていた絵画作品や授業や行事で使っていた備品・教材類をはじめ、市内全域から「小学校時代の思い出」というテーマで寄せられた文章や写真を紹介する。また、信濃教育会が永年保存している 4 小学校の卒業生の絵画作品（152 点）を借用展示する。

関連事業： 会期中、統合する4小学校で使用されていた版画用プレス機を使った版画制作を行うワークショップを開催予定。（講師：信州大学准教授 猪瀬昌延先生、版画家・岩本彩花先生）

3 ギャラリー展等

市出身あるいはゆかりがあるかどうかに関せず、市外の作家も積極的に紹介し、施設（ロビー及び2階ギャラリー）の有効利用を図る。

- (1) 『(仮称) 岩本彩花版画作品展』(2階ギャラリー) 9/6～10/13
- (2) 『北信濃伝統工芸展』(2階ギャラリー) 10/15～11月中旬頃
- (3) 登録社会教育団体等から利用希望があれば随時検討する。

4 ギャラリートーク・ワークショップ等

美術を身近に感じ楽しむためのギャラリートークやワークショップを実施する。職員による作品説明のほか、企画展開催時は出品作家本人による説明やワークショップ開催が行えるよう調整を図る。

- (1) 収蔵品展及び企画展の作品説明
 - ①美術館職員による説明
 - ②企画展作家による作品説明やワークショップ開催
- (2) 夏休み・春休み体験教室の美術・図工の講座の担当

市公民館主催の小中学生を対象とした夏休み・春休み体験教室において、美術・図工関連の講座を担当予定。

5 市内の小中学生及び高校生の企画展鑑賞機会を増やす取り組み

市内小中学校・高校及び下高井農林高校の授業や部活動において企画展を授業で見学する場合は、美術館で市バスを手配して児童生徒の送迎を行う。

現在、冬耳展開催期間中に城南・城北中、飯山高校を合わせて557名（20クラス以上）が既に市バスを活用して来館する予定となっている。

6 施設整備等

- (1) 飯山市伝統産業会館・美術館の冷暖房機のオーバーホール

現在の冷暖房機は使用開始（H23年12月）から14年以上が経過しており、修繕に必要な部品等の製造が終了した場合、冷暖房機全体の更新が必要となってしまう可能性があることから、機械全体のオーバーホールを行い長寿命化を図る。

令和7年度は3系統あるうちの1系統分について実施し、残りの2系統分は令和8年度以降に実施予定。

(2) その他の課題

- ・平成9年(1997年)から28年間使用している美術館作品展示壁面の老朽化が進んでおり更新が必要。

7 その他

(1) 広報活動について

- ・広報飯山、i ネット、防災無線放送を活用した美術館情報の発信等
- ・SNS(インスタグラム)を活用した情報発信

(2) 市民ギャラリーの有効活用について

公民館の廊下壁面などを市民ギャラリーと位置付け、市民から作品展示の希望を美術館で受け付けており、今後も市報やi ネットなどで利用を呼びかける。

(市民ギャラリーとして使用している場所)

- ・公民館1階廊下の壁面
- ・公民館階段の壁面
- ・公民館2階ロビーの壁面
- ・図書館の公民館側入口のガラスケース

(3) 五郷研修館の今後の取り扱いについて

五郷研修館(旧五郷分校)は、かつて、県外在住美術家がアトリエとして利用するなどしてきたが、老朽化が著しいため、今後は除却に向けた準備を進める。

①県外在住美術家(4名)のアトリエ及び作品は今年10月末までに撤収予定。

②美術館とふるさと館の収蔵資料の一部については、今年閉校した小学校等への移動を希望している。

令和 8 年度（2026 年度）以降の企画展等の予定について

令和 8 年度 (2026 年度)	【開催予定】 現代美術家、佐々木晴香氏の作品展	・飯山市出身でベルリンを拠点に 13 年以上活動している美術家、佐々木晴香氏の個展を開催予定とし、7 年度（2025 年度）から作家本人と展示作品や運搬方法など詳細を詰めていきたい。 ・佐々木氏は、主にアクリル絵具や墨を使った抽象性の高い絵画作品を制作している。また、ヨーロッパ各地でライブペインティングやパフォーマンスも行っている。
令和 9 年度 (2027 年度)	【検討中】	・郷土出身あるいはゆかりのある美術家等の企画展開催を基本とするが、飯山市で紹介することがふさわしい作品による企画展を検討する。 ・現在、一つのテーマを決めて、それに因んだ作品を制作している作家たちのグループ展を検討中。
令和 10 年度 (2028 年度)	【検討中】	・郷土出身あるいはゆかりのある美術家等の企画展開催を基本とするが、飯山市で紹介することがふさわしい作品による企画展を検討する。